

2014年度、D級指導員講習会開催報告(1/2)

長期一貫指導・育成はリレー・みんなで育てていく

- 主催:千葉県サッカー協会()
- 後援:成田市サッカー協会(事務局)
- 開催場所:下総運動公園
- 開催期日:2014年11月15日.16日
- 講師:旭講師、谷口講師、斎賀講師、藤田講師*(県協会)
- 協力: 事務局長(濱田)、事務局(江角・前梶・田嶋・岩瀬)、技術部女子委(山田)、広報(飯嶋)*(市協会)

<開催に際して>

2008年度に、県協会指導部に協力の形で始まった成田地区D級指導員講習会も、今年で7回目。県内で年10回程度開催の貴重な講習会を、成田地区でできることは、この地区で活動されるサッカー関係者をサポートする目的を持つ市協会として、重要な事業と考えます。応募に対し成田地区の優先枠をとっていただくなど、市協会への配慮もあり、事業を通じて年々県協会指導部との連携も深まっております。今年は、40名の講習枠に対し成田地区から18名の参加があり、成田開催初年度は数名だった事を考えると、地域のニーズに答えられる事業になってきたとも感じます。今年も講習会の締めには、成田開催講習会の恒例となった豚汁の振る舞いをいたしました。

<育成はリレー>

育成はリレー・選手はみんなで育てる。一人の指導者では選手は最後まで育てられない。ジュニアの指導者がサッカーの面白さや基礎を教え、ジュニアユースで心・技・体を練り上げ、ユースでたくましさ学び、そして最後に大学・社会人とバトンタッチしながら育成していく。

<最後を少しでも積ませてもらった>

今の日本のサッカーの進歩は、皆がレンガを積み上げてきた結果。サッカーの仲間が横に積み、縦に積んでくれたレンガの最後を自分が少しでも積ませてもらったと思っている。 *岡田武史(元日本代表監督) D級指導員講習会テキストより



■今年は30名、成田市サッカー協会加盟チームから18名の参加がありました。

<2014年度、D級指導員、下総運動公園開催参加者>

成田地区18名(三里塚FC:2名、七栄FC:6名、ホレイロ:2名、NSSS:2名、成田FC:2名、ケンサ栄RFC:2名、セレス成田JFC:2名)、その他地区:9名、当日不参加:2名、合計30名、



アイスブレイクでオープンハートに



実技・体幹ストレッチで体をほぐします



谷口講師の力強い指導

2014年度、D級指導員講習会開催報告(2/2)

勝負にこだわり、子供たちの大きな可能性を失ってはいけない！

<日程>

1日目	9:00	開校式	ガイダンス	(藤田)	講義室
11月15日	9:30	講義Ⅰ	発育発達、育成の全体像	旭	講義室
(晴れ)	10:30	講義Ⅳ	メディカルの知識	斎賀	講義室
	11:30	講義Ⅱ	審判・ルール	旭	講義室
	12:30	昼食			
	13:30	実技Ⅰ	アイスブレイク「ゲーム」	谷口	グラウンド
	14:30	実技Ⅱ	トレーニングの紹介「テクニック」	旭	グラウンド
	15:30	実技Ⅲ	サンプル(複合練習)パス&コントロール系ドリブル系	谷口	グラウンド
2日目	9:00	実技Ⅳ	シュート系	旭	グラウンド
11月16日	10:30	講義Ⅲ	コーチング法	藤田	講義室
(晴れ)	11:30	講義Ⅴ	大人の関わり	藤田	講義室
	12:30	昼食			
	13:30	講義Ⅵ	実技を振り返り	旭	講義室
	14:30	筆記テスト			講義室
	15:30	閉校式	閉校式(豚汁会)		

指導員の体系図

公認S級コーチ	プロリーグで指導できる指導者の育成
公認A級コーチ(ジェネラ)	指導者のスペシャリストの育成(年代別)
公認A級コーチ(U12)	
公認B級コーチ	サッカーの全体像を理解し、基本的な知識・指導力を持った指導員の育成
公認C級コーチ	12歳以下の選手に関わるグラスルーツで活動する指導員の育成。D級はグラスルーツで活動する指導者の育成を目的に、公認C級コーチ養成講習会の内容を2日間(合計9.5時間)に凝縮したカリキュラム構成になっています
公認D級コーチ	
公認キッズリーダー	10歳以下の選手に関わる指導者や父母で、体を動かす楽しさを教えられる指導員の育成。グラスルーツで活動する指導者の育成を目的に、公認C級コーチ養成講習会の内容を2日間(合計9.5時間)に凝縮したカリキュラム構成になっています



* 初日のアイスブレイク



* 旭講師も主に関わっていただけようになった



* 最後は豚汁で締め

受講者の感想



曾我 巧(三里塚FC)

最年少参加、プレーは殆ど現役、指導はこれからと謙虚に語ってくれた。

私は高校時代にサッカーを教えるという事に興味を持ち、選手から指導者として、新たなサッカー人生をスタートしました。始めた当初は、自分がプレーしていた事を言葉で伝える事の難しさや、子供とのコミュニケーションの取り方に戸惑いを感じた事を覚えています。しかし、やっていくうちに子供達が日に日に上手くなっていく事を実感できる事や、いかに練習を楽しみながら取り組めるメニューを作るかを考える事に、指導者としての楽しみを見いだす事ができました。そして、自分の専門的な知識やスキルアップをしたいと思い、指導者講習会を受けました。講習会では選手たちへのコンディションや練習方法での配慮をはじめ、アイスブレイクなどの実践的で大人でも使える方法を学ぶ事ができました。この経験をもとにこれから勝ちにこだわりすぎず、将来が楽しみになる様な選手育成に励み、多くの子どもたちにサッカーの楽しさを伝えられるような指導者になれるよう頑張りたいと思います。